

報告概要

MHC 松本カトマンズ姉妹都市交流事業

岳都カトマンズ訪問と エベレスト撮影紀行V

カラパタールからのエベレスト 8848m 2015.1.4撮影 鈴木 雅則

主 催 NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会(MHC)

事務局 松本市島立 4539-7 TEL47-6197 FAX47-5685

E-mail : mhc@lily.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~mhfc/>

後 援 松本市 松本市教育委員会 松本市海外都市交流委員会

信濃毎日新聞社 朝日新聞松本支局 每日新聞松本支局 読売新聞松本支局 産経新聞長野支局 中日新聞社
市民タイムス 長野日報社 松本タウン情報 NBS 長野放送 TSB テレビ信州 abn 長野朝日放送 テレビ松本
ケーブルビジョン FM 長野 長野県写真連盟

松本カトマンズ姉妹都市交流事業

「岳都カトマンズ訪問＆エベレスト 8848m撮影紀行 V」報告概略

「岳都カトマンズ訪問＆エベレスト撮影紀行 V」は、2014 年 12 月 24 日～2015 年 1 月 11 日までの日程で松本市民を始めとする参加者 6 名により実施致しました。参加者一行は、カトマンズ市を表敬訪問して古都カトマンズを探訪し、エベレスト山群の奥深く入り込み、エベレストベースキャンプ上部のカラパタールピーク 5545m に、全員見事登頂を果たして、「山と美しい自然」を控えた岳都交流と姉妹都市交流の責任も果して参りました。



12/24 PM10:00 カトマンズ空港到着。カトマンズ副市长代理、サンタラムポハレル氏らの歓迎を受ける。



12/25 カトマンズ市長代理、ダン・バハドゥル・シュレスタ氏を、市庁舎に表敬訪問する。



12/25 カトマンズの世界文化遺産、カトマンズ・ダーバースクエアを探訪する。



カトマンズ市で一番高い、高さ 60m のビンセントタワーに登り、カトマンズ市街を展望する。



パタン市の世界文化遺産ダーバースクエアを探訪。



パタンの仏教寺院ゴルデンテンプルを訪問。



12/26 早朝ホテルを出発。定期便で登山基地ルクラへ向かう予定だったが、上空強風の為、全ての航空機が欠航。



PM3:00、急遽悪天候にも強いヘリコプターで、エベレスト街道登山基地ルクラへ着陸。この日ルクラ泊。



12/27、AM8:15 パサン・ツエリンをサーダに、シェルパら2名とゾッキヨ2頭の部隊で、ルクラ出発。



チベット仏教の経文が彫られたマニ石が積まれた脇を通る。大きなマニ車を廻し登山の安全を祈る。

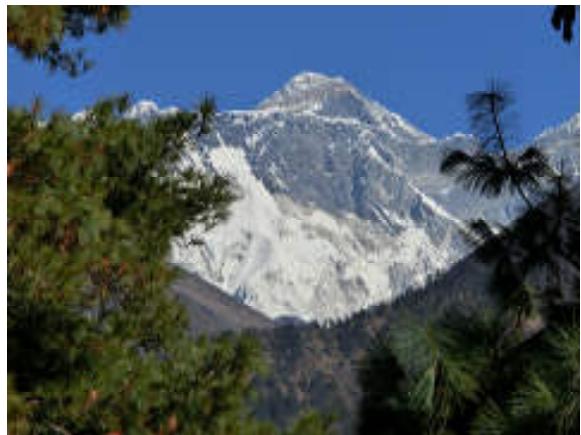


パグディンで昼食後1時間程登ると、タムセルク 6623mを望む。PM4:15 クンビーラ山を望むモンジョ到着、ロッヂ泊。



荷を担うラバ隊が行く

12/28 モンジョ出発。ジョサレで国立公園入園手続を行い、吊橋を渡り、ナムチェへの 600mの登りにかかる。



600mの高度差の登山道を登る。1時間半ほど登ると木々の間からエベレストを眺望する。



PM1：15 ナムチェ・バザール 3440mに到着する。ナムチェのロッヂで一息つく頃、ナムチェの家並みの遙かの高みに、タムセルク 6623mが午後の陽に輝いていた。



12/29 ナムチェゴンパ(寺)のマニ車を廻し、登山の安全と成功を祈って、トレッキング開始する。



登り 2 時間余、エベレスト 8848m を望み大パノラマに息を呑む。右にタムセルク 6623m がそそり立つ。



クンビーラ山の麓に広がるクムジュン村と冬休み中のヒラリースクール・クムジュン校を訪ねる。

MHC が建設した学生寮・食堂・台所・600m引き込んだ貯水槽などの管理運営を確認。MHC が用意した文具などを手渡し、クムジュン校先生らと MHC 理事長との間で、意見交換し合う。



12/30、クムジュン村 3790mを出発。山腹を下降し渓流の橋を渡り、ブンキタンガからラリグラスの林を抜け、カンテガ 6799mを見上げながら高度差 670mを登ると、チベット仏教寺院が建つタンボチエに登り出る。



夕方、タンボチエ 3867mから望む、エベレスト 8848m左、ローツェ 8516m右の大展望。



PM3 : 30、チベット仏教総本山、タンボチェ寺院に参詣をする。12/31 快晴の朝を迎える



12/31AM8 : 15 出発。パンボチェを経由して、ショマレで昼食。午後ディンボチェ 4340mへ向う。



マニ石とローツェ 8516m



ローツェを望み、パンボチェからショマレへ向かう。

PM4 : 00、ディンボチェへ到着。



ディンボチエ 4340mからのローツェ、アマダ布拉ムが美しい。1/1 同所に滞在し、高度順応をはかるため、ナンバルゾンピーク 5100mの 4800m付近まで登る。



1/1 ナンガルゾンピークへ試登する。山腹はエーデルワイスの花園だった。この夜、積雪となった。



1/2 夜来の降雪により、真白な雪景色の中を進む。トウクラで昼食。欧米の大勢のトレッカーと出会う。



午後、凍てついた渓流沿いに、ロブジェ 4930mへ向う。夕方、ロブジェから西の空にかすかな夕焼けを望む



1/3 AM8:50、凍てつく積雪と強風の中、ロブジェを出発。思うように休めず、登りを続け、ようやく PM1:00 ゴラクシェップ 5180mに到着。しかし、悪天候の為、誰も山頂への登山は行っていないとの事。

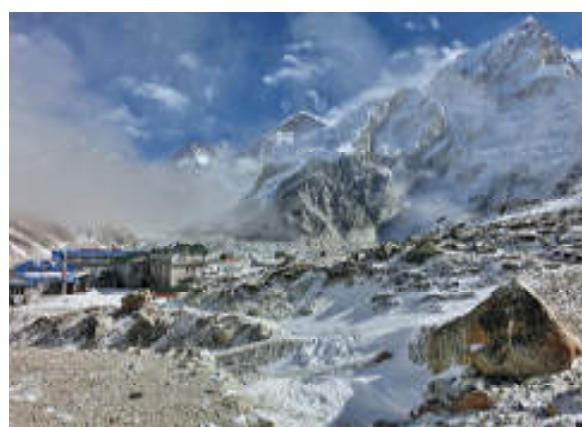


豪快に流れるクーンブ氷河

目指すカラパタル 5545mが、見えてきた。



エベレストベースキャンプは、青氷状に光っている



風雪のゴラクシェップ 5180m



1/4 風が少し弱まる PM12 : 00、登攀を決行。後方にエベレスト 8848mを望む。



登り 3 時間、低温と 15m前後の強風に耐え、辛苦を乗り越えて 6 名が頂上へ向かう。カラパ塔はあの岩場の上部だ！。



雲間に見え隠れするエベレストを背景に。山頂を目指すと、PM3 : 00 タルチョーはためくカラパ塔ビルピーグ 5545mに、全員見事登頂する。「おめでとう、頑張ったね！」感激の握手を交わし合う。



Pm4:30 頃から霧雲が晴れ、世界最高峰エベレスト 8848mとヌプチエ 7855mを望む。



PM5 : 00、徐々に夕陽に照れされて、橙色に染まっていく、世界最高峰エベレスト 8848m



徐々に暮れゆくエベレスト 8848m とヌプチエ 7855m



この日、最後の夕照に輝く世界最高峰エベレスト 8848m



雪の下山路を急ぐ



1/5 ロブジェから望む、ヌプチエ 7855m



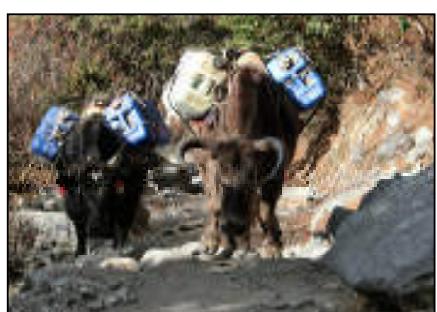
5000mに生息するスノーコーク



エベレスト登攀者たちのお墓群とアマダブラム 6812m



1/7 タンボチエを出発



1/7 タンボチエからブンキタンガへ



1/7 タンボチエからの朝日を受けるエベレスト 8848m



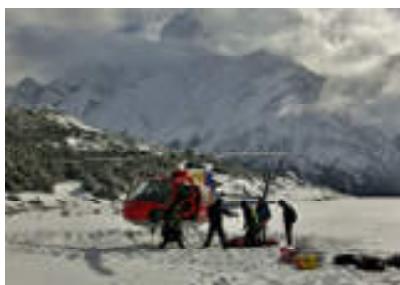
タンボチエからコンデリ 6187mを望む



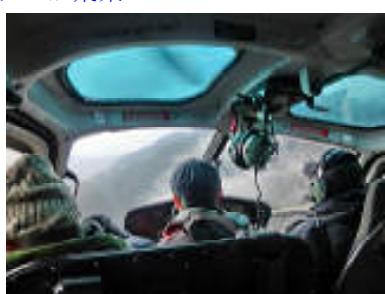
クムジュン村とアマダブラム 6812m



クムジュン村に生息する国鳥ダーンフェ、1/7 最後の夜、ウィスキーをあおり、勇壮なシェルパダンスを披露してくれた。



シャンボチエ 3700mへ、ヘリコプターが飛来



1/8 朝、ヒラリースクール・クムジュン校は雪に埋まっていた。シャンボチエ 3700 には、AM9:30 カトマンズからヘリコプターが飛来し、私達 6 名が乗り込み、ルクラを経由して、AM11:00 カトマンズ空港へ帰還する・



宮ノ

1/8 夜、カトマンズ市役所、MHC カトマンズ支部ら 30 名が集まり、私達の登頂祝賀会と歓迎会を開催してくれた。翌 1/9 世界文化遺産バクタプール探訪の後、カ市職員らと共にナモブッタ聖地を訪問する。



ラクパヌル



ラクパツェリン



パサンツェリン



ソナムウォンデ



パマドカ



ノナムチュテン



カムツェリン



ラクパカンチ



プラカンチ



ドルジチュティン



パルデンドマ



ツェリンタシ

1/9 夜、MHC 奨学生ら 12 名と面会し学生生活を聞き、激励を行った、素晴らしい夜となった。

全員、カトマンズの短期大学に通学。経営学、教育学、タンカコース、そして医師などを目指し苦学しています。若い彼らが、ネパールの将来を背負って立つ事でしょう



アン・ツェリン



ツク・テン



パサン・ダワ

MHC 奨学基金を
支える人々

前ネパール山岳協会長

奨学事務局長



1996 年設立後の MHC 奨学生は、延べ 80 名を数え、エベレスト街道で男女卒業生に出会う事があります。皆で、応援してあげてください。1/10 夜遅く、混雑するカトマンズ空港を発ち、1/11PM2:05 に、成田空港へ到着。貸切バスで松本へ向かい、PM7:00 に到着、最終解散としました。

皆様のご理解と、ご協力のお陰で、松本カトマンズの岳都市民交流の成果を挙げる事ができました。ありがとうございました。

岳都カ訪問&エベレスト撮影紀行V総責任者 MHC 理事長 鈴木 雅則



後方にエベレストを望みカラパタール 5545m 登頂

登山家野口健さん(右奥)と共に 撮影 鈴木雅則 2015.1.4